

2021年8月19日

八王子市教育委員会御中

都教組八王子支部執行委員長 佐々木清明

今回のパラリンピックでの

学校単位の観戦はやめてください。

日頃より、八王子市の子どもと教職員のために、ご尽力いただき有難うございます。また、先般は歴史教科書の採択について良識ある判断を示されたことに敬意を表します。

さて、8月16日の報道によると、パラリンピックは無観客で開催、しかし希望する自治体の学校単位の観戦は行うとのことです。

感染者が増え続き、医療体制がひっ迫、緊急事態の延長と拡大が決定しました。新たな変異株の感染力や重症化のリスクは従来以上に大きく、未成年者への、家庭や教育施設での感染も広がっています。中学生へのワクチン接種はこれから、児童へのワクチン接種は予定されていません。仮に接種が行われたとしても、ブレイクスルー感染の事例も報告されています。貸し切りバスで直行直帰したとしても、感染の可能性は大きく、児童生徒から家庭への感染のリスクも生じます。

また、新型コロナ感染症以外の危険もあります。会場での熱中症や不慮のけが、病気の場合、現状では医療機関は対応できません。

オリンピックの学校連携観戦は中止になりました。状況はさらに悪化しているのにパラリンピックでは実施するとしたら、児童生徒に大きな不安を与え、大人にとっては自分たちの命や健康よりも行事の形式的な成功や体面のほうが大事なのか、という不信感につながることもなりかねません。

しょうがい者スポーツについては各校での学びが進んでいます。パラリンピックという一時的なイベントに寄らずとも、継続的な学習は可能です。

八王子市として、今回のパラリンピックでの学校単位の観戦は希望しない、行わないようにお願いいたします。